

# みぞこしかどうきょう 溝越架道橋



- ・ 規 模      【車道部】橋長 L=5.4m、幅員 W=9.3m  
                  【歩道部】鉄道敷跡（盛土部）、延長 L=8.0m
- ・ 建築年代    明治30～33年頃築造
- ・ 外観の特徴    橋台は煉瓦造（イギリス積）、上部橋梁は鋼製。橋台の桁が載る部分は荷重がかかるため砂岩で補強しており、3路線分ある。県道をまたぐ橋であり、地域でも親しまれている跨道橋。現在、橋には配管が敷設されており、レールは撤去されているが枕木の痕跡は残る。
- ・ 指定の理由    本市の特徴は、日本の近代工業化の礎を築いた三池炭鉱とともに歩んできた歴史を持ち、その歴史の証として、市内各地に三池炭鉱関連近代化産業遺産が残されている。これらの近代化産業遺産は、まちのいたるところに点在しており、明治の築造から100年以上経た今では、地域にとってはすでにありふれたなじみの深い景観として、まちの特徴を表す重要な風景の一部となっている。
- ・ 所 在 地      大牟田市桜町82番2及び82番3



👉 [地図ナビにリンクしています](#)